

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	高知県
取組市町村名 取組団体・企業名	宿毛市 宿毛市立山田保育園
取組の名称	サメ給食で広がる地域のつながり
実施時期	6月
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	☒ 1 みんなで楽しく食べよう ☒ 2 朝ごはんを食べてよう ☒ 3 バランスよく食べよう ☐ 4 太りすぎないやせすぎない ☒ 5 よくかんで食べよう ☒ 6 手を洗おう ☐ 7 災害にそなえよう ☒ 8 食べ残しをなくそう ☐ 9 産物を応援しよう ☒ 10 旬・産地の品を味わおう ☐ 11 和食文化を伝えよう ☒ 12 食育を推進しよう
取組内容	【対象児】4歳児 8名 【目的】地域食として親しまれているサメ（フカ）を給食の食材として活用し、それをきっかけに子どもたちと地域の人々とのつながりを広げていく。 【内容】昨年度の年少組の子どもたちは魚図鑑に親しんでおり、その中でもサメが大好きな子どもがいました。給食にサメ料理が出たある日、子どもたちにフカがサメであることを伝え、 「これは何というサメ？」という質問が出ました。 「お魚屋さんに聞いてみようかね」と子どもたちに返し、漁協の方に確認すると、「クロトガリサメ」と「シュモクザメ」であることを教えていただきました。そのことを子どもたちに伝え、 「どのくらい大きいの？」という新たな疑問が生まれたため、再び漁協の方に尋ねると、今度はサメの写真を園に持ってきてくださいました。この年少組の子どもたちの質問をきっかけに始まった漁協の方とのやりとりは他のクラスにも広がり、聞きたいことを手紙に書いて子どもたちから漁協の方へ渡しました。実物を見ることができないかお願いしたところ、今年度は、冷凍したサメを園へ持ってきてくださり、全園児が実物を見たり触れたりすることができました。子どもたちは、「つるつるしちょう」「とがっちょう」などと興味津々で観察していました。この体験を通して、給食のサメ料理をおかわりする子どもの姿や、園の駐車場に漁協の車が停まると「今日は何を持ってきたかな」と楽しみにする姿も見られるようになりました。サメを身近な食材として感じるだけでなく、漁協の方々の存在もより身近に感じられるようになっていきます。また、この取組をボードにまとめて掲示し、保護者にも紹介しました。すると、漁協の方が配達に行かれた際、そこに勤務していた保護者から声をかけられる場面もあったそうです。サメ給食をきっかけに、園・家庭・地域をつなぐ新たな交流が生まれた取組となりました。

